

愛道

あいどう

トピックス

第1回 足羽川 ふれあいマラソン

第112号

2013年7月1日発行

新たなスタート マラソン大会と 組織改編について

足羽福祉会 理事長

高村 昌裕

新政権の打ち出した成長戦略のもと、景気回復への期待と不安が入り混じった状況ですが、足羽福祉会では新しい職員を加え、希望と責任感をもつての平成25年度をスタートさせていただきます。

親子が快走し、成功裏に終えることができました。皆様に厚く御礼申し上げます。

穏やかな春色の光を受けながら、親子で、職場の仲間、ボランティアで、また県外からと、さまざまな形で集われた皆さん方が、あちらこちらで「がんばれーっ!!」「ありがとう!!」

去る3月24日、当法人として初めての試みとなる「第1回足羽川ふれあいマラソン」を開催しました。お陰をもちまして、350人ものボランティアの皆さんや関係諸団体、地元木田地区のご理解、ご協力を得て、1,950人のランナー・

今後、ボランティア主体の運営による本大会を継続

発展させていくために、参加者、運営側、地元の方々それぞれに「ふれあいマラソン」の意義が深まっていくよう「三方よし」の精神で着実に取り組んでまいります。

さて、今年度より当法人では新会計基準への導入にあたり、これまでの障がい福祉の施設区分を廃止し、組織の改編を行いました（下図）。

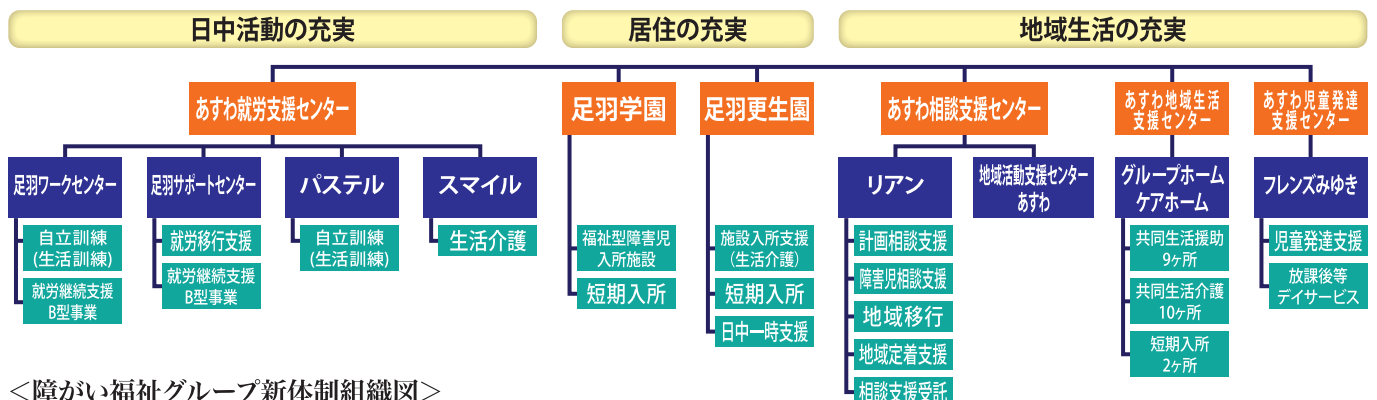
その理由の一つは、障害者自立支援法以降、サービスの単位が「施設」から「事業所」に代わってきたことです。かつての入所授産施設「足羽ワークセンター」は現在、日中活動の事業所

4か所、グループホーム・ケアホーム8か所のほか、相談支援、地域活動支援センターといった、多数の事業所に機能分化しています。足羽更生園でも同様にサービスの地域化、分散化が進んできました。今回

それらを機能ごとに6つの拠点到整理いたしました。

もう一つの理由は、相談支援の充実化です。1人の利用者の方が「日中は〇〇、夜間は△△」と複数のサービスを利用し、かつ選択もできるようになる中、介護保険制度で「ケアマネージャーがケアプランを立てる」ように、障がい福祉制度においても「相談支援専門員がサービス等利用計画を立てる」ことになったのです。当法人では相談支援事業所「リアン」を立ち上げ、現在4人の相談支援専門員が法人内外の各サービス事業所と連携を取りながら業務にあたっております。

今回の改編により、よりいつそうご本人の立場に立った、生涯にわたる適切なのないサービス体制の構築を目指し、職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。



＜障がい福祉グループ新体制組織図＞

夏祭りのお知らせ

とき
7/14 日
15:45-18:50
ところ
足羽学園・足羽更生園 中庭

とき
7/20 土
16:30-19:15
ところ
足羽東保育園 園庭

とき
7/20 土
11:00-16:00
ところ
愛全園 新館 地域交流センター

とき
7/27 土
17:30-20:15
ところ
足羽利生苑・足羽ワークセンター

目次 もくじ

- 2 新たなスタート ～マラソン大会と組織改編について～
- 3 夏祭りのお知らせ
- 4 早春の風を切って ～第1回足羽川ふれあいマラソン～
- 6 大きく一歩前へ! … 足羽学園
- 8 喜びの気持ちが原動力 … あすわ就労支援センター
- 10 1日なんもせんとじっとしているのがイヤ! … 足羽利生苑
- 12 平成25年度足羽福祉会新任職員紹介
- 14 平成24年度決算報告
- 15 愛のささえ
- 16 足羽川ふれあいマラソン協賛・ボランティアご芳名一覧



「表紙について」

遠くまで飛んで行け～。「ふう～」…
あれ?思ったより身近なところにく
っついちゃいました(^^)

(足羽学園 江上 千賀子)

早春の風を切って

～第1回足羽川ふれあいマラソン～

平成25年3月24日、快晴の中、福井市立木田小学校を発着点とするハーフ、10km、5km、3kmおよび2km親子マラソンの5種目による本大会を、無事に終了することができました。地域、ボランティアの皆様のご協力はもちろん、多くの関係者の方々のご支援、ご理解があつてこそ、本大会の成功へとつながったと感じております。本当にありがとうございました。今後も地域に愛される行事として、鋭意努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

足羽川ふれあいマラソン実行委員長 蟻塚光男



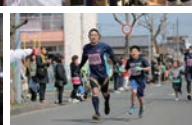
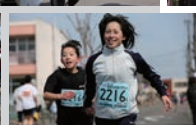
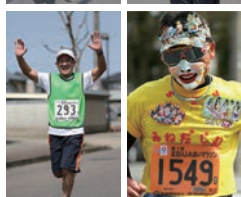
開催までの準備、スタート前



いよいよスタート!

足羽川ふれあいマラソン
スタート

それぞれのレース風景



ゴール後のおたのしみ ぜんざいサービス



みなさま、お疲れ様でした^^

大きく一歩前へ!

足羽川マラソンは、平成24年3月の第30回大会をもって終了することになりました。しかし、さまざまな縁で足羽福祉会が主催することとなり、名称も『足羽川ふれあいマラソン』に変更し、平成25年3月24日に第1回大会が開催されました。足羽学園からも8名の利用者の方が参加しました。

今回は、そのマラソン大会に参加された2名の利用者の方をご紹介します。

「私も走る!」

足羽学園では、毎年10月に行われる福井マラソン、そして3月に行われる足羽川マラソンに利用者の方が参加されています。参加するかどうかは、利用者の方にうかがって決めています。今まで、走ることが好き、体力に自信があるという利用者の方が主に参加されていました。

しかし、足羽福祉会が主催することとなったのを機に、利用者の方に参加を募ったところ、今まで参加されたことのない中津さんも「女の子みんなが走るなら、私も走ります!」と参加したい思いを伝えて来られました。

気持ちの変化

中津さんは、現在通われている特別支援学校のマラソン大会でも、同じく3kmを走っているようです。しかし、職員は実際にその様子を見たことがなかったので、今回の参加について「3km走ることができるのだろうか? 走り疲れて、途中で立ち止まってしまうのではないだろうか?」と不安な気持ちを抱えていました。

ところが中津さん自身はやる気満々! 特に本番が近づくと、足羽学園の廊下や、体育館活動の時間に走るなど、徐々に準備をされて

いました。

そんな懸命な姿を見てみると「何も3kmずっと走らないといけないのではない。途中で歩いたとしても、参加すること、やり遂げることに意義がある!」と職員の気持ちも変化していききました。

自信に満ちて



左：中津さん 気合十分!

マラソン大会当日、中津さんは早起きをして準備万端で「がんばります!」と気合が入っていました。また会場では、伴走ボランティアの方と合流すると「よろしくお

願いします」ときちんとあいさつをされていました。いざスタートの合図が鳴り、15分程すると参加者の方が続々とゴールしてきました。今か今かと、中津さんのゴールを待っていると、伴走ボランティアの方に励まされながらゴールを目指しました。中津さんの姿が見えました。最後までやり遂げ、中津さんの顔は自信に満ちていました。そして「また走りたいです」と次回への意気込みを話してくれました。



最後までがんばりました!

一緒に・・・

一方、今回のマラソン大会では、飛山拓也さんとお母さまと一緒に参加されました。拓也さんがマラソン大会に参加することも初めてでしたが、保護者の方が一緒に

参加し、伴走をしてくださることも初めてでした。そこで、お母さまにお話を聞かせていただきました。



ドキドキ・・・スタート直前！

Q. 今回、拓也さんが参加したきっかけについて教えてください。

A. 最近、拓也の体重が増えてきて、運動が必要かなと思ったのでいきつかけたたんです。それと、今回から足羽福祉会

が主催となったので、障がいのある方が他にも参加するんだろうなと思ったのと、障がいへの理解してもらいやすいだろうと思ったので。一般のマラソン大会だったら、参加していませんでしたね。

Q. 拓也さんだけではなく、お母さまも伴走として参加されたのは、どのような理由ですか？

A. 一緒に走った方が、拓也自身が落ち着いて走れるだろうと思ったからです。一緒に走れば、隣で声もかけてあげられるし。それに、初めての人がボ

ランティアで伴走として付いてもらうと、きっと拓也自身もボランティアの方も、どちらも戸惑ってしまいうるうと思うからです。

Q. 当日の拓也さんの走りはいかがでしたか？

A. 途中で歩いて、強歩のようになるときもありましたね（笑）。でも、隣で「ジュース飲めるよ」と声をかけると、今度は全速力で走るので、走っては止まり、走っては止まりの繰り返しで、一緒に走る私が辛かったです（苦笑）。

マラソン大会当日のことを思い浮かべながら、笑顔でお話を聞かせてくださいました。お母さまの拓也さんに対する愛情が感じられる、そんなインタビューになり、心が温まりました。



足羽川ふれあいマラソンは3kmという部門があること、そして足羽福祉会が主催となったことで、今まで以上に利用者の方が積極的に参加できるようになりました。これからも、マラソンを介して人とのつながりを、そしてやり遂げたときの達成感や自信を感じられる場への参加の支援をしていきたいと思っています。



拓也さんがリードして、ゴール！

喜びの気持ちで原動力に

『わくわくキッチン』を通して



わいわいみんなで手巻き寿司♪

日々の生活の中で『食』から得られる楽しみは、とても大きいことかと思えます。あすわ就労支援センター食養部では、平成24年5月から『わくわくキッチン』という取り組みを行っています。

わくわく
キッチンとは？



これまで、ケアホームで過ごされている利用者の方の食事は、センター内の厨房で調理した物を配達することがほとんどでした。そのため、調理員は利用者の方とかかわる機会はほとんどなく「本当に利用者の方に食事を喜んでいただいているのだろうか…」と不安に思うことがありました。

そこで食養部では、利用者の方に、調理を通して楽しみながら食に対する関心や興味を深めていただく目的で、実際に調理員がケアホームに出向き、利用者の方と一緒に調理することを検討していきました。

思いに寄り添って



まずは栄養士が各ケアホームを訪ね、利用者の方一人ひとりの希望を聞いていくことから始めました。

利用者の方からは「お寿司が食べたい!」や「ハンバーグを作ってみたいな」など、さまざまな希望が出てきました。中には、なかなか自分の思いを伝えることが難しい方もいましたが、担当の支援員が間に入ること、利用者の方の緊張も和らぎ、希望をうかがうことができました。その希望に添えるよう、活動メニューを関係職

員と検討していきました。そんな中、調理員からは「普段かわったことのない利用者の方とどのように接したらいいか」という不安の声もありました。

そこで、日々利用者の方とかわっている支援員と連携し、利用者の方が参加しやすい活動内容や説明方法などを相談していきました。そうすることによって、より一層準備に力が入っていきま



栄養士がみなさんの希望をうかがいます☆

おいしい！
の一言が喜びに



『わくわくキッチン』当日、

利用者の方一人ひとりに役割を担っていただき、調理員が付き添いながら調理を進めていきました。最初は、どの利用者の方から「包丁持つのが怖い」「どうやってやればいいかわからない」など不安な気持ちがうかがえました。

しかし、調理員が「ゆっくりでもいいですからね。一度一

緒にやってみましょう」な

ど、声かけを行ったり、手本を示したりすることで「わ

かった、できそう」「私もやってみる！」と、とても意欲的

に参加される様子が少しずつ見られました。また、利用

者の方同士でお互いに「こうやるんやぞ」と教え合いなが

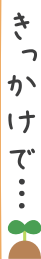
ら、楽しそうに和気あいあいと協力して作られる場面も

見られました。

このように、利用者の方と一緒に楽しく調理をし、利用者の方から「おいしいよ！」

「楽しかった」と笑顔で返していただけとき、調理員にとってこの上ないうれしさを味わうことができました。

経験が



『わくわくキッチン』を

きっかけに、利用者の方の日常に1つ楽しみが増え、また

調理を通して、自分たちで作ったのだという達成感が

芽生え「次は〇〇に挑戦してみたい」と意欲的な言葉が

聞かれるようになりました。

また、調理員も利用者の方とかかわる機会が増えた

ことで、利用者の方から思いを直接うかがうことができ

「より良い食事の提供をして利用者の方に喜んでいただ

きたい」という意欲がさらに高まり、職員のやりがいにつ

ながつていきました。

ふだん、あまり話をする

機会の少ない利用者の方とも『わくわくキッチン』を通して、かわりがもっている

ように感じます。また調理員としても、利用者の方に

食事をおいしいと喜んでいただきたいという意欲がさらに強くなり、やりがいにつな

がっています。

今後、利用者の方が全員参加できるような調理内容

の検討や、支援員・調理員・栄養士の連携を密に図って

いかなければならないという課題があります。

これからも「温かみのある、ワクワクするような喜ばれる食事作り」を目指し、実

現に向けて取り組んでいきたいと考えております。

あすわ就労支援センター

副主任 堤 美知恵

副主任 堤 美知恵

みんなで挑戦!!
ハンバーグ作り☆



1日なんもせんと じっとしているのがイヤ！ 趣味を活かして

足羽利生苑には、手芸が得意なMさんがおられます。入所当初は部屋に閉じこもりがちだったMさんでしたが、今では手芸を通して作品展示をされるなど張りのある生活を送られています。その裏にはMさんの強い思いと、職員とのかかわりがありました。

現在に至るまでのMさんと職員の二人三脚の歩みを紹介します。

<Mさんの紹介>

- ・ 86歳 女性
- ・ 要介護度… 1
- ・ 趣味… 手芸
- ・ 性格… こだわりの強いところと、一度決めたことはやりぬくところがあります。



やる気が起きんのや

入所当初は体調不良もあり、部屋に閉じこもりがちだったMさん。調子が良いときには趣味の手芸に取り組み、小さなカエルや帽子を作られることもありました。

しかし、入所から半年が経過した平成22年12月ごろより「**最近何もやる気が起きんのや**」と言われ、手芸をされることも少なくなり、日中はテレビを見て過ごされることが多くなっていました。

そこで職員は、少しでもMさんの望む暮らしができればとの思いから、話し合う機会をもつことにしました。するとMさんから「**私はポケたくない**」という強い思いを打ち明けられました。

思いを形に

Mさんの思いを、どうしたら実現することができなのか。職員はさまざまな提案を行い、Mさんとかかわりをもりました。

まず、少しでも頭を使う習慣ができればとの思いで、計算問題を提供することになりました。するとMさんは真剣に取り組み、計算問題が終わると電卓を使用し、答え合わせもご自分で行われました。



次に、手芸の意欲が高まるようにボランティアの方の協力を得て、手芸に取り組みれました。するとMさんの意欲が高まり、ボランティアの方から来られることを楽しみにされるようになりました。

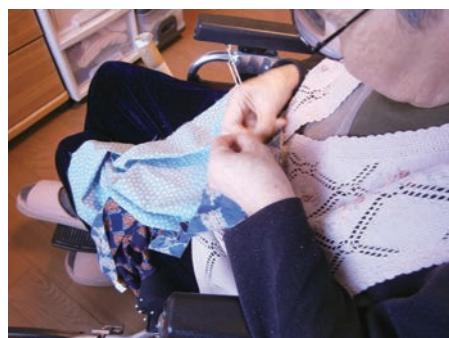
また職員と本屋へ外出された際には手芸の本を購入されました。そして、ボランティアの方と一緒に本を見て、新たな手芸に取り組みられるようになりました。

ときには、職員の要望に応じてくださることもありました。「トイレの物品を隠す布を作っていただけませんか」とお願いしたときには、笑顔で作ってくださったこともありました。



そうしたかわりから、午前中には計算問題を、午後か

らは手芸という日課を自身で決めて取り組まれるようになりました。



Mさんの姿や丁寧に作られた作品を見ていた職員は、作品を展示する場を設けてはどうかと考えました。

展示についてMさんに提案すると「**私はカエルしか作れんのや**」と言われました。しかし、新たな手芸に取り組まれることで自信がついてきたのか、職員の声かけにMさんは展示に対する意欲が高まっていたのです。

まずは、当苑の夏祭りに作品を展示・販売することを提案してみました。

Mさんの作品を展示！



左から、小銭入れ、ぞうさん小物入れ、ポーチ、きんちゃく

〈足羽利生苑夏祭り〉

平成24年7月に開催された当苑の夏祭りに作品を展示・販売するところが決定してから、Mさんは熱心に夜遅くまで手芸に取り組みました。そして、きんちゃくや小物の手芸品、キャラクター品などを作られたのです。夏祭り当日は、購入される方もおられ、大盛況となりました。

〈高齢者いきいき展〉

次に、当苑以外の場にも作品を展示することを提案してみました。平成24年9月には福井駅東の公共施設アオッサで開催された「高齢者いきいき展」にフクロウの集合と題した作品を出展したのです。

この作品展には、実際にMさんと職員で見に行くことになりました。Mさんは「すごいな」と言われ、刺激を受けている様子でした。外出の翌日、テレビで作品展が放送されました。放送を見ていたMさんは「いきいき作品展に出した作品がテレビに映ってたんや」とうれしそうに職員に話されました。

後日、Mさんに出展した感想を聞いてみると「恥ずかしかった…これからも毎回やってみようかな」と話されました。



※フクロウの集合は現在、足羽利生苑の正面玄関に飾られています。来苑の際にはぜひご覧ください。



現在では「1日何もせんといっといてるのがイヤ」と言うほど意欲があるMさん。展示の場が張り合いになつていくようです。

入所当時のMさんは不安と遠慮のせいか一人で悩みを抱えていたように思います。

そこで何か張り合いになるものはないか、本人とも相談し、手芸なら自信があるとのこと。夏祭りに出店しようともちかけてみました。今年も夏祭りに向けて、カーネーションの作り物などを着々と準備されていくところなのです。



この作品の展示がMさんの活力につながっているように思います。これからもMさんの思いを尊重し、力が発揮できる場を広げていきたいと思えます。

足羽利生苑 かりんユニット
リーダー 清水 弥生

平成24年度社会福祉法人足羽福祉会の財務諸表を公開します。

平成25年5月25日開催の理事会・評議員会に承認されたものを簡略化した内容となっております。

貸借対照表 (平成25年3月31日現在)

科 目	金 額(千円)	科 目	金 額(千円)
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	995,628	流動負債	255,442
固定資産	3,094,589	固定負債	375,831
基本財産	2,510,649	負債の部合計	631,273
その他の固定資産	583,940	純 資 産 の 部	
		基本金	155,158
		国庫補助金等特別積立金	929,421
		その他の積立金	60,235
		次期繰越活動収支差額	2,314,130
		(うち当期活動収支差額)	(80,986)
		純資産の部合計	3,458,944
資産の部合計	4,090,217	負債及び純資産の部合計	4,090,217

脚注1. 減価償却費の累計額 1,778,888(千円)

事業活動収支計算書

自平成24年4月1日 至平成25年3月31日

科 目	金 額(千円)
就労支援事業活動収入	71,832
就労支援事業活動支出	69,165
就労支援事業活動収支差額	2,667
福祉事業活動収入	2,329,802
福祉事業活動支出	2,199,111
福祉事業活動収支差額	130,691
事業活動外収入	661,890
事業活動外支出	662,439
事業活動外収支差額	△549
経常収支差額	132,810
特別収入	158,792
特別支出	210,615
特別収支差額	△51,823
当期活動収支差額	80,986
前期末繰越活動収支差額	2,194,144
当期末繰越活動収支差額	2,275,130
その他の積立金取崩額	58,000
その他の積立金積立額	19,000
次期繰越活動収支差額	2,314,130

資金収支計算書

自平成24年4月1日 至平成25年3月31日

科 目	金 額(千円)
就労支援事業収入	80,349
就労支援事業支出	77,353
就労支援事業活動資金収支差額	2,996
福祉事業収入	2,631,852
福祉事業支出	2,389,649
経常収支差額	242,203
施設整備等収入	87,052
施設整備等支出	618,087
施設整備等資金収支差額	△ 531,035
財務収入	58,000
財務支出	64,715
財務活動資金収支差額	△6,715
当期資金収支差額計	△ 292,551
前期末支払資金残高	1,153,321
当期末支払資金残高	860,770

【本部】

(寄付・寄贈)

リコージャパン(株) マルサ製

パン所 北陸銀行福井東支

店 三谷商事(株) (有)誠心堂

サンクリーン パルティール

(有)けんこーや (有)内田精肉

店 データシステム(株)

【足羽東保育園】

(ボランティア・交流・訪問)

橋本日和 谷野茜 宮川定

幸 文珠苑 上文殊小学校

(研修・実習・見学)

福井県立恐竜博物館

【足羽学園・足羽更生園】

(寄付・寄贈)

福井県繊維産元協同組合 藤

井硝子店 (有)吉田金属 永平

寺町社会福祉協議会 熊谷

福井財団 滝波礼子 パ

ナソニックエレクトロニッ

クデバイス労働組合福井支

部 (ボランティア・交流・訪問)

三井玲子 小林登代子 竹

村勉 福井地区美容師会

(研修・実習・見学)

東海医療福祉専門学校

京都教育大学 福井県医療

福祉専門学校

【あすわ就労支援センター】

(ボランティア・交流・訪問)

高村智子 松原智子 畑

節代 大島早泰子 大澤

芳江 ふくい若者サポート

ステーション

(研修・実習・見学)

福井県立福井南特別支援

学校 福井県立嶺北特別支

援学校 福井県医療福祉專

門学校

【愛全園】

(寄付・寄贈)

大黒裕實 多田憲市

(ボランティア・交流・訪問)

啓蒙保健衛生推進員 啓蒙

ボランティア 啓蒙民謡ク

ラブ 福井市赤十字奉仕団

小木大正琴クラブ 斎藤さ

よ子 花亀会 山岡玲子

太田美代子 本多春子 奥

村美枝子 中嶋安子 坂本

幸子 熊谷三和子 鈴木

陽子 石川幹子 山下敏子

山下敬子 ギタークラブ

(研修・実習・見学)

福井農林高校

【足羽利生苑】

(寄付・寄贈)

山本皓一

(ボランティア・交流・訪問)

福井市赤十字奉仕団 松宮

あさ子 丸山グループ

まいまれーど美容室 宇都

宮友美 美容室倶楽部浜田

戸嶋聡美 定兼紘美 本田

幸雄 梯洋枝 オカリー

ナポルテ 野坂幸雄 坂本

幸子 大正琴ささゆり会

お茶会(麩山敏子) 中井昭

(研修・実習・見学)

福井県医療福祉専門学校

順不同・敬称略

編集後記

●いよいよ、暑い夏が。ひぐらしの声に癒されながら、前向きに頑張ります!!

大島(保)

●夏ですね。海にBBQ、浴衣に花火…。やりたいことがいっぱいです! いくつ達成できるかな?!

江上(学)

●今年度より編集委員になりました。たくさんの人に楽しく読んでいただけたような記事を目指して、これから頑張ります!!

平鍋(更)

●今号が最後の記事となります。3年間ありがとうございました。今後も「愛道」をよろしく願っています。

長田(就)

●梅雨をたびこえ、一気に夏陽気。体がなかなかついていけず…。夏にわくわくしていたころが懐かしい。

羅川(愛)

●とうとう編集委員を卒業することになりました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

本田(利)

●盛夏を前に各地のマラソンイベントもひとやすみ。食べすぎず、飲みすぎず、体と相談しながら秋のレースに備えます。

川縁(本)

●新任職員の皆さんの「好きな言葉」にあるように、前向きな気持ちで日々過ごしていきたいものです。

安田(本)



足羽川ふれあいマラソンにご支援いただいた方々 ご協力誠にありがとうございました

【協賛各社】

小林化工(株) N Dソフトウェア(株)
飛島建設(株)北陸支店 データシステム(株)
渡辺冷凍食品(株) 福井建材社 栄月(株) 福井銀行東郷支店
(株)見谷組 スーパースポーツゼビオミタニレジャーレントール(株) 技建工業(株) 丸福産業(株) ワールドワイド(株)
(株)ユウシ 三谷設備(株) 医療法人和幸会本多整形外科医院 藤島電気工事(株) (株)ビー・アイ企画 (株)ハヤカワ
(株)サン食品 酒井設備(株) グランディア芳泉 (株)協栄印刷 (株)ギトー
建築事務所 (有)発田モーターズ エフケーテックニカル(株) (株)アコス
晩産業(株) マイプリントシステム アイビーエーエント(株) 村中建設(株)
三谷商事(株)情報ソリューション事業部福井支店 (株)コードコーポレーション (株)ウララコミュニケーションズ ミヤマベーカーリー 福井キヤノン
事務機(株) 福井県知的障害児者生活サポート協会 福井県知的障害者福祉協会 福井県社会就労センター協議会 特定非営利活動法人福井県セ
ルフ振興センター (株)清風荘 (株)パ
リユーリンクス (株)天晴データネット
(株)谷口文栄堂 福井貨物自動車(株)
だるま屋商事(株) (有)北陸精巧舎 (有)
誠心堂サンクリン (株)ユアーズホテ
ルフクイ リコージャパン(株)中部営業
本部福井支社 横山電機(株) (株)グ
レート (有)京新自動車 (有)やまほ
(株)ヤマシタコーポレーション福井営業

所 三谷不動産(株) (株)マルゼン福井

営業所 (株)松田阿んころ五福餅本店
福井ゼロックス(株) 福井県漁業協同組合連合会 西田建設(株) 仲村家具
(株)タナックス (株)高島松文堂
太陽フロパ(株) (株)力ワグチ (株)ア
イル (有)たこや食品 (福)南陽園 キ
ングラン中部(株)北陸営業所 (株)南山
堂北陸営業所 (株)福井観光トラベル
サービス (株)ハシノメディカル 福井
県環境保全協業組合 山耕(株) 福井
医療(株) (株)ジャクエツ福井店 (株)
ニユー・フェイス 矢納正人 坪田バ
レエスクール (有)ロムコーポレーショ
ン (株)アクティブライフ 本道薬品
シグマサービス あいえんらいふ合同
会社 ヤマギクしょうゆ山ノ菊丸商
店 日野メカニカル(株) (株)メディベッ
ク福井営業所 大和電建(株) マルサ
製パン 常山酒造合資会社 パッ
ケージプラザ福井問屋町店 あきあ
かね (株)クラリス (株)キャリアプラ
ス (株)シンコー (株)FBCオンバイ
丸三製業(株)福井支店 オイラー(株)福
井支店 (株)北陸銀行 (株)ケイ・マック
ス 菓子の木 (株)福井クリンタオ
ル 高橋商店

【ボランティア】

佐藤信長 小野田明博 福井市陸上
競技協会 服部数雄 松沢甚三郎
坂本泰郎 飛田甫 前田善弘 石
塚之彦 堀江清正 児玉暢夫 吉岡
時晴 花山美登里 山口幸次 堀江

清弘 松田康雄 福岡渉 伊藤明子

高橋昭二 平田克麿 庄内又二郎
寺角正人 酒井平三郎 服部卓司
坂本茂久 中林喜悦 中南力 北村
滋樹 川端秋士 井上武志 鴨下靖
堀芳弘 安井登 白崎徳志 西田稔
荻原仁 山本功 中南喜美子 渡邊
豊 田中重孝 坂井功男 白崎和男
白川勇 福井南警察署 福井警察署
福井市交通指導委員会 末富勇 高
村真紀子 齊藤祐子 前川まさみ
蟻塚早織 宮崎真由美 野口洋子
宮下賀子 中川ユキエ 濱可奈子
浅井絵梨 久保知尋 加藤芳恵 橘
川有里 堀江萌 石原澤 村上友望
棚田莉子 小林麻耶 多喜江里奈
飛弾一平 円道菜美絵 松永勝 友
重香織 高倉未地 高倉澄江 深草
深英 牧野峯子 川下和子 中島光
男 井上洋子 佐々木瑠奈 黒田茜
柴原優美 長澤和光 大橋尚史 高
間健輔 福田行宏 西村佳晃 平田
由美 平田将誠 坪川真弓 日本
ボーイスカウト福井連盟第7団の皆
さん 西山勇 赤井友香 児玉多紀
子 森美奈代 為永恵生 細田真由
小野徹 織田歩優 中尾夏子 国本
莉奈 石山瑠香 三上結以 酒生ベ
アーズの皆さん 牧野正武 田中伝
吉村美恵子 大塚製菓の皆さん 福
田有紀 上別府聖人 立原吉昭 安
田敏代 水野琴美 徳本雅子 岩上
利恵 アクティブライフの皆さん 番

場知明 城戸奈津季 山本眞一 奥

山末雄 福井県予防医学協会 救急
ボランティアREM 深草秀見 川
畑勝也 鈴木広夢 大久保貴史 五
十嵐亘 一橋侑里 寛和大 近藤義
勝 土岡ケイ子 澤ユミ子 南麻理
子 結城千里 法貴のり子 本田千
代子 小林優一 吉田喜代美 渡辺
美穂子 木原翔太 黒木涼介 在藤
公則 丸山貴弘 宮川健介 堀昭
彦 柏木寛 杉本龍英 名倉功 小
林家次 川崎愛理 中澤知子 渡辺
陽子 峯田雅朗 林佳代子 藤田幸
生 田中明将 蟻塚誠弥 山岸幸美
佐藤美栄 櫻川美穂 吉田慶 小林
理男 佐藤麻美 小澤永嗣 對木卓
矢 水上喜美子 岡本直美 鷺田
紘一 伊藤博國 田中稔 水谷茂樹
山田慎 前田数人 米田光紀 可児
伸悟 森本宏之 田中直宏 加藤祐
貴 酒井忠雄 北川祥平 杉本吉
弘 酒見雄平 久保広幸 高田勝
之 鉾崎直文 武藤功士 田島雄
二 宮川鉄平 平井浩一 三上卓也
杉本裕亮 南北成輝 南部雄太 末
広直杜 正木涼也 南大貴 西村拓
也 松浦俊守 蟻塚知都 宮下和己
甲斐敏夫 高橋重夫 藤沢かよ子
岩崎とき子 渡邊静枝 石川浩樹
石川淳美 石川治香 金田純一 住
谷唯 小森真人 秋山昌則 井上正
典 三浪聡 鶴原敦 朝倉攻介 小
山悟 山田一誠 齊藤大翔 島田金

星 森下由美 藤井芳宗 高橋豊隆

高橋健志 仲下千尋 堀田明穂 安
間奈々 村上晴香 花川悠樹 福井
県社会福祉協議会「つないでキラリ」☆
まちひと・えがお。ひろげ隊 仁愛
大学上ゼミ みやま木こころ二座
リコージャパン(株) (福)かすみが丘学
園 (福)藤島会 (福)祥穂会 福井県老
人福祉施設協議会 (福)福井市社会福
祉協議会 (株)福井銀行 (株)南山堂
明治安田生命保険(相)福井支社
山コソビ (株)ハシノメディカル 大原学
園福井校 福電生 福井医療(株) あ
いおいニッセイ同和損害保険(株)福井
支部 北陸高校「SOI JFW」アン
パンマン「カレーパン、きんたろー」
羽水高校JRC部 仁愛女子高校
鯖江高校生徒会 美山中学校 (有)ハ
トヤ Kコンドー 福井県医療福祉
専門学校 全国健康マラソン会福井
県支部 チアリーディングチーム
WENDYS 木下喜美

順不同・敬称略

発行所

社会福祉法人
足羽福祉会

〒910-2178 福井市梅野町20-7

TEL(0776)41-3108

FAX(0776)41-3199

<http://www.asuwafukushikai.jp/>

発行責任者 高村昌裕